

令和 6 年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・**最終**)

呉市立明德中学校区 校番 20 学校名 呉市立明德中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	○主体的な学びは、生涯学習等においても大切なことである。引き続き授業改善に取り組んで欲しい。 ○目標を自分個人の責任として引き受けようとする自覚を育ててほしい。
目標達成のための方策の適切さ	A	○方策がふさわしいと思うので、引き続き100%を目指して欲しい。 ○地域社会に力を尽くし、役に立ちたいという思いや考えを育て、自分に少しでも自信をもたせるように取り組んでほしい。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	○地域の為に何をすべきか、中学生のころから考え、実践させることは有用なことである。防災というのは易しいことのように難しいと考える。 ○地域社会への取組のレベルアップを期待する。 ○学習の見直しができていない生徒がいるのではないか。
今後の改善策(案)の適切さ	A	○改善策は概ね適切である。 ○学校行事等について時期や内容を検討したり、生徒を信頼して任せるような取り組み方に移行したりしていくことも大事だと思う。
その他		○授業や行事を通して生徒のよさ、すばらしさを感じている。少ない生徒ゆえに課題もあり、生徒指導の難しさを感じる。 ○引き続き、地道な取組をしてほしい。 ○子ども自身が勉強の必要性に気づき、自らやり始めるきっかけをつくること、学ぶ楽しさと生きていくことの大切さを自覚するように導くことを目指して欲しい。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	○生徒の具体的な姿を中心とした授業改善を推進する。 ○子どもが進める「めいとく・トライ」を深化させる。 ○生徒の「トライ」を見守り、支援する体制をつくる。 ○防災を含めた地域貢献活動の充実を図るとともに、生徒の意識を高める。 ○教職員による不祥事の根絶と働き方改革の推進を図る。
--------------------	---